ＵＢＥマシナリー株式会社

ESGデータ（Ｅ／環境）（宇部本社におけるデータです）

ＵＢＥマシナリーにおける環境負荷の全体像

インプット

項目		単位	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
総エネルギー投入量	原油換算量	KL	3,464	3,599	3,522	3,429	3,148	3,031	2,907	2,657	2,213

アウトプット　　AA:該当データ取扱いなし

項目		単位	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
大気排出	GHG	t-CO2e	11,344	11,890	11,519	11,284	9,713	9,646	9,538	8,778	8,303
	So x	t	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1
	NOx	t	AA	AA	AA	AA	AA	AA	AA	AA	AA
	ばいじん	t	AA	AA	AA	AA	AA	AA	AA	AA	AA
	PRTR法対象物質	t	0	0	0	0	0	0	0	0	0
土壌排出	PRTR法対象物質	t	0	0	0	0	0	0	0	0	0
水域排出	排出水量	千m_3	79.7	80.8	98.2	121.9	124.8	105.0	96.7	96.6	103.2
	COD	t	0.8	0.9	1.2	1.1	1.4	1.2	1.1	1.1	1.3
	全リン	t	0.2	0.2	0.2	0.2	0.3	0.2	0.2	0.2	0.3
	全窒素	t	1.3	1.3	1.7	1.7	2.1	1.7	1.4	1.4	2.2
	PRTR法対象物質	t	0	0	0	0	0	0	0	0	0

ＵＢＥマシナリーにおける水資源の利用状況

水資源投入量(注)

項目	単位	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
上水道水	千m_3	84.8	86.0	104.5	129.7	132.7	111.7	102.9	102.7	109.8

排出水量

項目	単位	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
海域	千m_3	79.7	80.8	98.2	121.9	124.8	105.0	96.7	96.6	103.2

(注)水資源投入量は、環境省の「環境報告ガイドライン2018年度版」に準拠しています。これは、外部から事業所内に取水した水量を指します。

環境保全：環境会計

経済効果

分類	主な内容	単位	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
実収入効果	有価廃棄物の売却額	億円	0.46326	0.52975	0.98557	0.89008	0.89814	0.65233

環境保全：環境負荷工場別データ

大気への排出量

項目	単位	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
ＳＯx	t	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1
ＮＯx	t	-	-	-	-	ー	–
ばいじん	t	-	-	-	-	ー	–

水域への排出量

項目	単位	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
ＣＯＤ	t	1.1	1.4	1.2	1.1	1.1	1.3
全りん	t	0.2	0.3	0.2	0.2	0.2	0.3
全窒素	t	1.7	2.1	1.7	1.4	1.4	2.2

環境保全：PRTR

2020年度のPRTR法対象物質の排出/移動の総量

	単位	取扱量	総排出量				総排出量2019年度比増減率	移動量	PRTR法対象物質
			大気	公共用水	土壌	合計			
ＵＢＥマシナリー	t	61	45.8	0.0	0.0	45.8	2.6%	18	6

2021年度のPRTR法対象物質の排出/移動の総量

	単位	取扱量	総排出量				総排出量2020年度比増減率	移動量	PRTR法対象物質
			大気	公共用水	土壌	合計			
ＵＢＥマシナリー	t	43	30.6	0.0	0.0	30.6	-29.9%	5.2	5

2022年度のPRTR法対象物質の排出/移動の総量

	単位	取扱量	総排出量				総排出量2021年度比増減率	移動量	PRTR法対象物質
			大気	公共用水	土壌	合計			
ＵＢＥマシナリー	t	35	25.5	0.0	0.0	25.5	-17.7%	4.4	5

2023年度のPRTR法対象物質の排出/移動の総量

	単位	取扱量	総排出量				総排出量2021年度比増減率	移動量	PRTR法対象物質
			大気	公共用水	土壌	合計			
ＵＢＥマシナリー	t	21	17.7	0.0	0.0	17.7	-51.0%	3.0	5

2024年度のPRTR法対象物質の排出/移動の総量

	単位	取扱量	総排出量				総排出量2021年度比増減率	移動量	PRTR法対象物質
			大気	公共用水	土壌	合計			

ＵＢＥマシナリー		t	28	22.2	0.0	0.0	22.2	-20.2%	6.0	6

2020年度のPRTR法対象個別物質の排出/移動（排出量上位10物質+ダイオキシン類）

政令指定番号	化学物質名	CAS No.	単位	取扱量	排出量				排出量2019年度比増減率	移動量
					大気	公共用水	土壌	合計		
300	トルエン	108-88-3	t	16	13.3	0.0	0.0	13.3	-2.9%	1.2
76	イプシロン-カプロラクタム	105-60-2		-	0.0	0.0	0.0	0.0	0	0.0
240	スチレン	100-42-5		-	0.0	0.0	0.0	0.0	0	0.0
134	酢酸ビニル	108-05-4		-	0.0	0.0	0.0	0.0	0	0.0
80	エチルベンゼン	-		15	13.9	0.0	0.0	13.9	22.0%	1.3
53	クロロジフルオロメタン	100-41-4		-	0.0	0.0	0.0	0.0	0	0.0
392	ノルマル-ヘキサン	110-54-3		-	0.0	0.0	0.0	0.0	0	0.0
213	N、N -ジメチルアセトアミド	75-45-6		-	0.0	0.0	0.0	0.0	0	0.0
128	クロロメタン	71-43-2		-	0.0	0.0	0.0	0.0	0	0.0
405	ほう素化合物	127-19-5		-	0.0	0.0	0.0	0.0	0	0.0
243	ダイオキシン類(注) (mg-TEQ/年)	-		-	0.0	0.0	0.0	0.0	0	0.0

(注)　異種の混合物

2021年度のPRTR法対象個別物質の排出/移動（排出量上位10物質+ダイオキシン類）

政令指定番号	化学物質名	CAS No.	単位	取扱量	排出量				排出量2020年度比増減率	移動量
					大気	公共用水	土壌	合計		
300	トルエン	108-88-3	t	16	12.6	0.0	0.0	12.6	-1.2%	2
76	イプシロン-カプロラクタム	105-60-2		-	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0%	0
134	酢酸ビニル	108-05-4		-	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0%	0
392	ノルマル－ヘキサン	110-54-3		-	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0%	0
80	キシレン	-		13	9.6	0.0	0.0	9.6	0.0%	1.4
104	クロロジフルオロメタン	75-45-6		-	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0%	0
128	クロロメタン	74-87-3		-	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0%	0
53	エチルベンゼン	100-41-4		8.8	7.6	0.0	0.0	7.6	-42.5%	1.1
400	ベンゼン	71-43-2		-	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0%	0
213	N、N -ジメチルアセトアミド	127-19-5		-	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0%	0
243	ダイオキシン類(注) (mg-TEQ/年)	-		-	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0%	0

(注)　異種の混合物

2022年度のPRTR法対象個別物質の排出/移動（排出量上位10物質+ダイオキシン類）

政令指定番号	化学物質名	CAS No.	単位	取扱量	排出量				排出量2020年度比増減率	移動量
					大気	公共用水	土壌	合計		
300	トルエン	108-88-3	t	13	10.4	0.0	0.0	10.4	-17.5%	1
76	イプシロン-カプロラクタム	105-60-2		-	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0%	0
134	酢酸ビニル	108-05-4		-	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0%	0
392	ノルマル－ヘキサン	110-54-3		-	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0%	0
80	キシレン	-		10	7.4	0.0	0.0	7.4	-25.8%	0.9
104	クロロジフルオロメタン	75-45-6		-	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0%	0
128	クロロメタン	74-87-3		-	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0%	0
53	エチルベンゼン	100-41-4		8.1	7.1	0.0	0.0	7.1	-8.5%	0.9
400	ベンゼン	71-43-2		-	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0%	0
213	N、N -ジメチルアセトアミド	127-19-5		-	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0%	0
243	ダイオキシン類(注) (mg-TEQ/年)	-		-	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0%	0

(注)　異種の混合物

2023年度のPRTR法対象個別物質の排出/移動（排出量上位10物質+ダイオキシン類）

政令指定番号	化学物質名	CAS No.	単位	取扱量	排出量				排出量2020年度比増減率	移動量
					大気	公共用水	土壌	合計		
300	トルエン	108-88-3	t	9	8.1	0.0	0.0	8.1	-39.7%	1
76	イプシロン-カプロラクタム	105-60-2		-	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0%	0
134	酢酸ビニル	108-05-4		-	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0%	0
392	ノルマル－ヘキサン	110-54-3		-	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0%	0
80	キシレン	-		6	4.8	0.0	0.0	4.8	-57.4%	0.8
104	クロロジフルオロメタン	75-45-6		-	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0%	0
128	クロロメタン	74-87-3		-	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0%	0
53	エチルベンゼン	100-41-4		5.2	4.1	0.0	0.0	4.1	-41.4%	0.8
400	ベンゼン	71-43-2		-	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0%	0
213	N、N -ジメチルアセトアミド	127-19-5		-	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0%	0
243	ダイオキシン類(注) (mg-TEQ/年)	-		-	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0%	0

(注)　異種の混合物

2024年度のPRTR法対象個別物質の排出/移動（排出量上位10物質+ダイオキシン類）

政令指定番号	化学物質名	CAS No.	単位	取扱量	排出量				排出量2020年度比増減率	移動量
					大気	公共用水	土壌	合計		
300	トルエン	108-88-3	t	10	9.3	0.0	0.0	9.3	-33.7%	1
76	イプシロン-カプロラクタム	105-60-2		-	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0%	0
134	酢酸ビニル	108-05-4		-	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0%	0
392	ノルマル－ヘキサン	110-54-3		-	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0%	0
80	キシレン	-		7	6.1	0.0	0.0	6.1	-47.6%	0.8
104	クロロジフルオロメタン	75-45-6		-	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0%	0
128	クロロメタン	74-87-3		-	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0%	0
53	エチルベンゼン	100-41-4		6.3	5.5	0.0	0.0	5.5	-28.7%	0.8
400	ベンゼン	71-43-2		-	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0%	0
213	N、N -ジメチルアセトアミド	127-19-5		-	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0%	0
243	ダイオキシン類(注) (mg-TEQ/年)	-		-	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0%	0

(注)　異種の混合物

産業廃棄物の処理量

年度	単位	発生量	内部			排出量	外部		
			減量化量	リサイクル量	理立処分量		減量化量	リサイクル量	最終処分量
2016年度	t	3669.9	0.0	0.0	0.0	3669.9	23.8	3581.8	64.3
2017年度	t	4080.1	0.0	0.0	0.0	4080.1	24.0	3989.5	66.6
2018年度	t	4012.3	0.0	0.0	0.0	4012.3	23.9	3919.3	69.1
2019年度	t	3498.7	0.0	0.0	0.0	3498.7	11.6	3432.9	54.2
2020年度	t	3054.5	0.0	0.0	0.0	3054.5	23.3	2979.5	51.7
2021年度	t	3269.9	0.0	0.0	0.0	3269.9	25.3	3189.3	55.3
2022年度	t	3106.5	0.0	0.0	0.0	3106.5	29.1	2971.8	105.6
2023年度	t	2986.6	0.0	1.0	2.0	2986.7	39.6	2886.5	60.6
2024年度	t	2771.4	0.0	0.0	0.0	2771.4	27.0	2704.5	39.9

地球環境問題：地球温暖化対応

温室効果ガス（GHG）排出量

項目	範囲	単位	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	
スコープ１	※１	t-CO_2e	801	725	554	463	378	390	414	事業者の燃料使用等による直接GHG排出量
スコープ２	※１	t-CO_2e	10,710	10,545	9,144	9,169	8260	8369	7699	他社から供給を受けた電気、熱の利用により発生した間接GHG排出量
合計		t-CO_2e	11,511	11,270	9,698	9,632	8,638	8,759	8,113	

温室効果ガス排出量（カンパニー別）2020年度実績

項目	単位	スコープ１	スコープ２	合計
ＵＢＥマシナリー	t-CO_2e	554	9,144	9698

温室効果ガス排出量（部門別）2021年度実績

項目	単位	スコープ１	スコープ２	合計
ＵＢＥマシナリー	t-CO_2e	463	9,169	9632

温室効果ガス排出量（部門別）2022年度実績

項目	単位	スコープ１	スコープ２	合計
ＵＢＥマシナリー	t-CO_2e	378	8,260	8638

温室効果ガス排出量（部門別）2023年度実績

項目	単位	スコープ１	スコープ２	合計
ＵＢＥマシナリー	t-CO_2e	390	8,369	8759

温室効果ガス排出量（部門別）2024年度実績

項目	単位	スコープ１	スコープ２	合計
ＵＢＥマシナリー	t-CO_2e	414	7,699	8113

温室効果ガス種別排出データ

項目	単位	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
CO_2	t-CO_2e	11,284	9,698	9,646	9,538	8,778	8,303
内訳							
エネルギー起源CO2（注）		–	–	9632	9522	8772	8297
非エネルギー起源CO2（廃棄物由来含む）		–	–	14	16	6	6
CH_4 ※1		35	35	36	35	35	35
N_2O		15	15	15	15	15	15
HFC ※1		1	1	1	1	1	1
PFC		0	0	0	0	0	0
SF_6 ※1		0	0	0	0	0	0
NF_3		0	0	0	0	0	0
合計		11,335	9,749	9,698	9,589	8,829	8,354

※1　10,000 t CO_2e未満

（注）は、第三者検証による保証を受けた数値になります。詳細は保証書を参照願います。

CO2排出原単位（単位生産量当たりのGHG排出量）

項目	単位	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
CO_2排出原単位	t-CO_2e/千h	11.2	10.54	10.45	9.69	8.71	8.97

省エネ法定期報告値生産量で原単位を算出（2020年度実績）

単位：t-CO_2/千hは生産量（1000時間／年）に対するCO_2排出量（トン）としている

エネルギー消費データ

項目	単位	2019年度～2021年度		2022年度		2023年度		2024年度	
		合計	再エネ由来	合計	再エネ由来	合計	再エネ由来	合計	再エネ由来
燃料の消費量（バイオマス）	MWh/年	0	0	0	0	0	0	0	0
購入電力の消費量（再エネ電力）		0	0	0	0	0	0	0	0
購入蒸気の消費量		0	0	0	0	0	0	0	0
自家発（再エネ）（太陽光発電）		0	0	0	0	0	0	0	0
合計		0	0	0	0	0	0	0	0

四捨五入の関係で合計が合わない場合があります。

燃料種別

項目	単位	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
一般炭	KL/年	0	0	0	0	0	0
灯油・軽油		252	188	152	110	122	138
LNG液化天然ガス		0	0	0	0	0	0
LPG液化石油ガス		15	11	11	16	9	4
石油コークス		0	0	0	0	0	0
重油		2	2	1	1	1	2
副生ガス・油		0	0	0	0	0	0
バイオマス		0	0	0	0	0	0
合計		269	201	165	127	132	145

マネジメントシステム取得状況（環境）　　**＊労働安全衛生マネジメントシステムはこちらへ（S/社会）**

環境マネジメントシステム　　**【カバー率＊　100 %】**

会社	事業所	EMS	取得年月	登録機関
ＵＢＥマシナリー㈱	本社工場・名古屋事業所等	ISO14001	1999年11月	LRQA リミテッド

＊ＵＢＥマシナリーの内で、当該マネージメントシステムを運用している関連拠点の割合